

◆中小企業家同友会 障害者部会主催 ダイバーシティ学習会◆
**児童養護施設退所後の子どもたちの自立を支えるために
企業・経営者ができること**

中小企業家同友会の障害者部会では、定期的に学習会を開催しています。今回の学習会は、児童養護施設「武田塾」の職員さんをお招きして、施設の様子や現状、課題について発表してもらいました。

障害者部会では、毎月1回武田塾への定期的な訪問活動を実施しており、当日は40名近い参加者で会場は、満員でした。

参加者の中には、様々な企業の経営者の方は、もちろん、福祉サービスを提供する支援者も多く参加されていました。

法人内の交野自立センターは、府内の児童養護施設から卒業生を多く受け入れており、生活訓練⇒就労移行のサービスを提供し、地域へ橋渡ししていく機能を有しています。これまでも児童養護施設から多くの利用者を受け入れ、地域移行を進めてきました。多くの卒業生は、交野自立センターを出て、グループホームから日中活動、企業への就職により、それぞれの生活をスタートさせています。

今回の学習会を交野自立センターに案内したところ、3名の職員が参加してくれました。児童養護施設の職員さんの生の声が聴けますし、今後の支援にきっと役立つと考えました。

発表の中で、お小遣いことや学習塾に通うことができたり、スマホを持つ時期など知らないことも多くありました。高校を卒業後に、いきなり一人暮するというのは、とても難しい課題だというのは、会場参加者共通の認識でした。

今の社会には、経済的な理由で進学をあきらめざるを得ない子どもたちが多くいます。特に、交野自立センターや児童養護施設で暮らす生徒さんであれば、より一層その傾向が強いと考えます。

貧困によって、子どもたちが持っている可能性が奪われないように守っていくことで、貧困の連鎖を断ち切って自立の道を歩むことを応援できるのではないかと思います。しかし、この貧困の連鎖という問題を現実的に解消していくには、行政、企業家、支援者、教育機関など多様なネットワークによる取組が必要なのだと思います。法人としてもこのような連帯の輪を広げていく力になればと思います。

★★大阪府中小企業家同友会「障害者部」とは★★

「障害者部」は同友会会員企業経営者で構成する組織です。障害者をはじめとする就労困難者の職場体験受入れの取組みや、児童養護施設訪問、支援学校・企業見学会などの活動を行っています。ダイバーシティ推進勉強会は、障害者部が運営、テーマに関心のある方なら会員外の方もご参加いただけます。詳しくは障害者部メンバーにお声がけください！

大阪府中小企業家同友会 障害者部 主催 ダイバーシティ 勉強会

～児童養護施設 退所後の 子どもたちの自立を支えるために～ 企業・経営者ができること

みなさんは「児童養護施設」にどんなイメージを持っておられますか？「親と離ればなれで生活する場所」といったイメージや、「施設を出た後、子どもたちはどんな生活をしているのだろう？」といった疑問もあるかもしれません。今回のセミナーでは、実際の児童養護施設における子どもたちの様子を少しでも知っていただけたらと思います。

そして児童養護施設の子どもたちが社会人として巣立っていく時子どもたちの自立を支えるために、私たち中小企業・経営者ができることを考えたいと思います。

中小企業同友会 障害者部では、「児童養護施設 武田塾」への訪問活動（インターンシップ交流会）を毎月行っており、施設職員の方々と連携して子どもたちの自立支援に関わっています。その活動に関する現状と今後の方向性についてもお伝えします。